



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年7月28日

上場会社名 株式会社 ユタカ技研 上場取引所 東
 コード番号 7229 URL http://www.yutakagiken.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大野 仁 TEL 053-433-4111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	37,804	△6.4	2,826	△18.0	1,853	△45.0	1,164	△42.2	820	△49.2	△3,920	—
28年3月期第1四半期	40,408	14.2	3,445	3.7	3,372	2.6	2,015	△14.7	1,615	△16.8	2,848	135.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	55.32	—
28年3月期第1四半期	108.98	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	136,225	75,751	65,576	48.1	4,425.28
28年3月期	145,905	80,217	69,689	47.8	4,702.81

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	22.00	—	28.00	50.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	73,000	△8.2	5,300	△20.7	4,400	△33.0	3,100	△31.6	2,400	△33.2	161.96
通期	151,000	△8.7	11,200	△23.5	10,200	△24.2	6,500	△25.6	5,100	△29.1	344.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	14,820,000株	28年3月期	14,820,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,401株	28年3月期	1,401株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	14,818,599株	28年3月期1Q	14,818,704株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 継続企業の前提に関する注記	9
(6) セグメント情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、国内は個人消費などが足踏みを続ける中、4月に発生した熊本地震の影響や期間後半での円高の急速な進行など、回復への逆風が続く厳しい状況となっています。また、海外においても、中国を中心とした新興国経済の減速が続いており、原油等の資源価格が低位水準を続ける中、6月には英国のEU離脱が決定されるなど、不安定要素の多い先行きが不透明な状態となっています。

このような環境のなか、当社グループは、国内及び海外市場における顧客からの受注増加や、合理化効果等のプラス要素はあったものの、競合の拡大による利益の低下や経費の増加等に加え、会計期間中の為替相場が円高に推移したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、378億4百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益28億2千6百万円（前年同期比18.0%減）となりました。更に会計期間末における急激な円高による営業外損失が発生したことにより、税引前四半期利益18億5千3百万円（前年同期比45.0%減）、四半期利益11億6千4百万円（前年同期比42.2%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益8億2千万円（前年同期比49.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

円高影響があったものの、顧客からの受注増による増収影響、固定費削減や合理化効果により、売上収益91億8百万円（前年同期比2.8%増）、営業損失1千1百万円（前年同期は営業損失3億4千1百万円）となりました。

(北米)

顧客からの受注増による増収影響はあったものの、円高影響や新機種対応に伴う費用の発生により、売上収益133億4千3百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益7億3千万円（前年同期比6.6%減）となりました。

(アジア)

円高影響があったものの、顧客からの受注増による増収影響に加え、インドネシア四輪事業やタイ新工場の立上げ費用の減少により、売上収益72億9千万円（前年同期比2.0%減）、営業利益7億7千9百万円（前年同期比239.2%増）となりました。

(中国)

顧客からの受注増による増収影響はあったものの、競合の拡大による利益の低下や経費の増加等に加え、円高影響により、売上収益115億7千8百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益14億3千1百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

(その他)

顧客からの受注減影響に加え、ブラジルにおける新機種立ち上げ費用の発生や現地通貨安影響により、売上収益は16億1千4百万円（前年同期比13.0%減）、営業損失1億8千5百万円（前年同期は営業損失3千5百万円）となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、主に現金及び現金同等物や有形固定資産が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ96億8千1百万円減少し、1,362億2千5百万円となりました。

負債につきましては、営業債務及びその他の債務や借入金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ52億1千5百万円減少し、604億7千3百万円となりました。

資本につきましては、主にその他の資本の構成要素が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ44億6千5百万円減少し、757億5千1百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は187億9百万円（前年同
期比9.0%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は25億7千2百万円（前年同期比53.9%減）となりました。これは主に営業債
権及びその他の債権の増加額による支出がありましたが、減価償却費及び償却費や税引前四半期利益による収
入が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は27億7千4百万円（前年同期比4.0%減）となりました。これは主に新機種
投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は9億7千4百万円（前年同期比804.5%増）となりました。これは主に短
期借入金の純減額や配当金の支出額等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上収益につきましては、為替の円高傾向での悪化影響及び、一部地域において顧客からの受注が当初の見込み
を下回る見通しであり、前回予想値を下回る見通しであります。

利益面につきましては、固定費削減や合理化効果があるものの、為替の円高影響に加え、売上収益減少影響によ
り前回予想値を下回る見通しであり、業績予想を修正いたしました。

なお、第2四半期連結会計期間以降の為替想定レートを1米ドル110円から105円に変更しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2016年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,716	21,037
営業債権及びその他の債権	32,354	30,629
棚卸資産	22,317	20,483
その他の流動資産	1,785	1,552
(小計)	80,172	73,701
売却目的で保有する資産	320	288
流動資産合計	80,492	73,989
非流動資産		
有形固定資産	60,011	56,743
無形資産	1,459	1,448
その他の非流動資産	1,401	851
繰延税金資産	2,542	3,192
非流動資産合計	65,413	62,235
資産合計	145,905	136,225
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	35,830	32,214
借入金	13,826	13,661
未払法人所得税等	909	758
その他の流動負債	2,623	2,548
流動負債合計	53,189	49,181
非流動負債		
借入金	7,490	5,939
退職給付に係る負債	3,034	3,188
繰延税金負債	1,189	1,477
その他の非流動負債	787	688
非流動負債合計	12,500	11,292
負債合計	65,689	60,473
資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	566	566
利益剰余金	65,380	65,785
自己株式	△2	△2
その他の資本の構成要素	1,991	△2,527
親会社の所有者に帰属する持分合計	69,689	65,576
非支配持分	10,527	10,175
資本合計	80,217	75,751
負債及び資本合計	145,905	136,225

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上収益	40,408	37,804
売上原価	32,941	31,165
売上総利益	7,467	6,639
販売費及び一般管理費	4,012	3,955
その他の収益	86	152
その他の費用	96	10
営業利益	3,445	2,826
金融収益	38	69
金融費用	111	1,042
税引前四半期利益	3,372	1,853
法人所得税費用	1,357	689
四半期利益	2,015	1,164
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	3	△1
純損益に振替えられることのない項目合計	3	△1
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	830	△5,083
純損益に振替えられることのある項目合計	830	△5,083
その他の包括利益(税引後)合計	833	△5,084
四半期包括利益	2,848	△3,920
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,615	820
非支配持分	400	344
四半期利益	2,015	1,164
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	2,398	△3,698
非支配持分	449	△223
四半期包括利益	2,848	△3,920
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	108.98	55.32

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	
2015年4月1日残高	1,754	566	59,168	△2	—	15	
四半期利益	—	—	1,615	—	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	—	—	2	
四半期包括利益	—	—	1,615	—	—	2	
配当金	—	—	△296	—	—	—	
所有者との取引等合計	—	—	△296	—	—	—	
2015年6月30日残高	1,754	566	60,487	△2	—	16	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2015年4月1日残高	7,164	7,179	68,665	10,665	79,331
四半期利益	—	—	1,615	400	2,015
その他の包括利益	782	783	783	50	833
四半期包括利益	782	783	2,398	449	2,848
配当金	—	—	△296	△103	△400
所有者との取引等合計	—	—	△296	△103	△400
2015年6月30日残高	7,945	7,962	70,767	11,011	81,778

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	
2016年4月1日残高	1,754	566	65,380	△2	—	—	12
四半期利益	—	—	820	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	△0
四半期包括利益	—	—	820	—	—	—	△0
配当金	—	—	△415	—	—	—	—
所有者との取引等合計	—	—	△415	—	—	—	—
2016年6月30日残高	1,754	566	65,785	△2	—	—	12

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2016年4月1日残高	1,979	1,991	69,689	10,527	80,217
四半期利益	—	—	820	344	1,164
その他の包括利益	△4,517	△4,517	△4,517	△567	△5,084
四半期包括利益	△4,517	△4,517	△3,698	△223	△3,920
配当金	—	—	△415	△130	△545
所有者との取引等合計	—	—	△415	△130	△545
2016年6月30日残高	△2,538	△2,527	65,576	10,175	75,751

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,372	1,853
減価償却費及び償却費	1,974	2,026
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△16	170
受取利息及び受取配当金	△38	△69
支払利息	104	55
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△14
固定資産廃棄損	17	4
特別退職金	63	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,292	△1,264
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,163	87
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	3,313	299
その他	△1,883	367
小計	6,777	3,516
利息の受取額	38	67
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△104	△60
特別退職金の支払額	△222	△104
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△914	△848
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,575	2,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	288	△40
有形固定資産の取得による支出	△3,369	△2,761
有形固定資産の売却による収入	330	78
無形資産の取得による支出	△133	△51
貸付による支出	△5	—
貸付金の回収による収入	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,889	△2,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,131	△329
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△38	△44
長期借入による収入	—	864
長期借入金の返済による支出	△801	△786
配当金の支出額	△296	△410
非支配持分への配当金の支出額	△103	△271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108	△974
現金及び現金同等物に係る換算差額	384	△1,457
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,963	△2,633
現金及び現金同等物の期首残高	17,591	21,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,555	18,709

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、各々の現地法人においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪（排気系部品、駆動系部品、その他） 自動車部品二輪 汎用製品組立及び汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪（排気系部品、駆動系部品、その他） 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪（排気系部品、駆動系部品） 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪（排気系部品、駆動系部品）
その他	英国 ブラジル	自動車部品四輪（排気系部品）

2. 報告セグメントごとの売上収益、損益、資産及びその他の情報

当社グループの前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	4,918	15,137	6,372	12,131	1,851	40,408	—	40,408
セグメント間の内部売上収益	3,940	271	1,069	311	5	5,596	△5,596	—
計	8,858	15,408	7,440	12,442	1,856	46,004	△5,596	40,408
営業利益又は損失 (△)	△341	781	230	2,538	△35	3,173	273	3,445
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	38
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	111
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	3,372

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	5,340	13,177	6,647	11,028	1,612	37,804	—	37,804
セグメント間の内部売上収益	3,767	167	644	550	2	5,130	△5,130	—
計	9,108	13,343	7,290	11,578	1,614	42,934	△5,130	37,804
営業利益又は損失 (△)	△11	730	779	1,431	△185	2,743	83	2,826
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	69
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	1,042
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	1,853

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。